

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成 31 年2月27日

氏 名: 舟津 香菜子

留学時所属&学年: 国際地域学部3年

| | |
|----------|------------------------|
| 留学先大学 | ブカレスト大学 |
| 留学先国 | ルーマニア |
| 留学期間 | 1学期間 |
| 留学開始一終了日 | 2018年9月27日 - 2019年2月8日 |

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書 : 公開を 希望します 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

交換留学してみたいという思いは昔からあり、留学を通して、今まで経験したことないことをしたり、全く違う文化の中で生活をしたりしてみたいと思ったからです。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学するには TOEFL の点数が必要だったので、そのための勉強からはじめました。それは2年生の夏前くらいからだったと思います。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

まず、私はヨーロッパの文化や歴史に興味があったので、ヨーロッパ圏の国がいいとおもい、その中であまり留学している人がいない珍しいところが面白いと思いルーマニアに決めました。ルーマニアについての情報はインターネットで調べてもあまり出てこないのも、正直着くまでよくわからず不安なままでした。その中でも、留学担当の先生やルーマニアに留学していた友達に聞いたりして情報収集していました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

国際地域学部として TOEFL itp の試験を1年生から、留学条件の点数が取れるまで1年に何回も受けました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例:助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

助言教員の先生には大学や国について、国際課の方にはブカレスト大学との事務連絡について、何回もお話に行っても助けてもらいました。
同じ国に留学していた友達がいたので、連絡して現地について色々教えてもらいました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

渡航後に、履修登録期間が3週間ほどあって実際に授業に参加してから、取りたい授業を決められるので、渡航前は焦らなくても大丈夫だと思います。

【留学中:大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

古いけど伝統的な校舎で勉強できました。学生のみんが勉強熱心で英語もペラペラでした。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

外国語学部のキャンパスだけフリーwifiがありました、他のキャンパスにはありません。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

B. 授業や勉学

1. 留学先で履修した科目

| | |
|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名):Academic Writing (Brindusa Nicolaescu)●時間数/週(単位数):3時間(4単位)●クラスの学生数:約 50名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 英語での論文の書き方を学ぶことができます。(参考文献やフットノートの書き方など) 予習課題で、論文の書き方についての文章を授業前までに読んで来るというのが出ました。期末課題は6ページのペーパーでした。 |
|---|--|

| | |
|---|---|
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名):International Politics(IVAN Ruxandra) ●時間数/週(単位数):3時間(6単位) ●クラスの学生数:約 50名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>ヨーロッパ内の国際政治、国際関係について学ぶことができます。 予習課題では、授業内容に合った文章や論文を読んでもくというが多かったです。 テストは記述式のテストでした。</p> |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名):Introduction to Political Science(Marton Silivia) ●時間数/週(単位数):3時間(6単位) ●クラスの学生数:約 70名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>政治学の基本的なことを学ぶことができます。予習課題は英語の論文を出されてそれを読んでもくというが多かったです。テストは記述式でした。</p> |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名):English for Political Science(Brindusa Nicolaescu) ●時間数/週(単位数):2時間(4単位) ●クラスの学生数:約 30名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <p>英語の文法など、基本的なことを学ぶクラスです。</p> |

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

政治学特有の英単語は聞いてもわからないことが多いので、そのような単語は意味を一回一回調べて、覚えるようにしていました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

たまに英語ではなくルーマニア語で書かれた文章が予習課題として出たことがあって、読めなくて困りましたが、授業はそれについて英語で説明してくれていたのなんとかわかりました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

講義聴講スタイルの授業が多かったです。先生が学生に質問や意見を求めて、それに学生が積極的に答えたり質問していたりしていたので、一方的な授業という印象はありませんでした。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

| | |
|-----------|--|
| 形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他() |
| 部屋人数 | (3)人部屋 |
| 寮・アパート名 | Grozavesti student complex |
| 家賃に含まれた費用 | <input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他() |
| ネット環境 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 室内設備 | <input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他() |
| 共用設備 | (洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) キッチン、洗濯機、勉強スペース |

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

学生寮のすぐ隣に大きなスーパーがあり便利でした。地下鉄の駅やバス停、トラムの駅も寮の近くにあります。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地銀行の開設はしませんでした。現金はキャッシングできるカードでATMで下ろしていました。ほとんどのお店でクレジットカードが使えるので、カードで払うことも多かったです。留学費用は奨学金や貯金から使っていました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

ベッドにはシーツや布団がないので、着いた日に買いに行く必要があります。土足で入るので部屋の中用のサンダルがあると便利です。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝レイ)(例:USドル)

| 内容 | 金額 | 内容 | 金額 |
|-----|-------------|----|------------|
| 渡航費 | 約 240,000 円 | 食費 | 約 95,430 円 |
| 保険代 | 73,060 円 | 家賃 | 約 32,000 円 |

| | | | |
|----------|-------------|------|----|
| 予防接種・ビザ代 | 約 26,100 円 | 教科書代 | 0円 |
| 交際費(外食等) | 約 200,000 円 | その他 | |

合計:約 650,000 円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

特にありません。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

寮から少し歩いた所に小さな診療所があって、通学路の途中に大きな病院があります。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

ありません。ビザ取得のために、現地で、健康診断を受けて診断書をもらう必要があります。

【留学後:成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど
留学を通して、人との関わりの大切さを学びました。情報が少ないルーマニアだったからこそ、周りの人と協力して、そして、助けをもらいながら、問題を解決していくことができました。ルーマニアには、住んでいる日本人が他の国と比べて少なく、その中での関わり合いがとても密接で、集まる機会も多かったです。ルーマニアにいる日本人のなかで、日本人会という集まりがあり、年末には、忘年会があり100人ほどが集まりました。その中には、大使館の方々や、日本企業のルーマニア在中の方々、ルーマニアでお店を出している方、教師をしている方など、本当に様々な方と出会うことができました。また、私は、日本人会のマラソン同好会というのに少し参加させていただいていたのですが、そこでもマラソンやお食事会などで、ルーマニアで働いていらっしゃる方たちから、貴重なお話をたくさん聞くことができました。様々な人生のお話を聞いて、様々な価値観があることに気づくことができました。ルーマニアでの出会いは、

日本では絶対に出会えないような方々と出会うことができたので、本当に貴重な体験だったと感じます。日本人が少ない分、深い関係になることができたと思います。

人との関わりの大切さを知ることができたことで、新しい出会いの機会に積極的に参加するようになり、そのような機会を作るようにしようと考えようになりました。人と出会うことでまた、新しいコミュニティや発見に気づくことができるとわかったからです。自分から行動を起こすことが、新しい人脈を広げることができ、そしてそれが、自分の価値観や視野を広げることに繋がるということ学びました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

ブカレスト大学での政治学の勉強が難しく、授業の内容を完璧に理解するのが大変だったので、留学前にもっと政治学についての理解を深めてから行くべきだったと思いました。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

実際に生活してみて、ヨーロッパの文化について、もっと学びたいと思うようになりました。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

今回ブカレスト大学に留学するのは福井大学生で初めてで、ほとんど情報がなく、とても不安なままルーマニアまで行ったのですが、行ってみると本当にいい国で、大学もレベルが高くて、勉強な熱心な現地の学生にとっても刺激を受けました。

政治学の授業は私にとってはとても難しかったですが、国際政治学や国際関係に興味がある人や勉強したい人には、政治学について本当に詳しく学ぶことができ、とてもぴったりだと思います。また、そうではない人でも、他の学部の授業(外国語学部など)も自由に取ることができるので、自分が興味あることも勉強できると思います。現地学生は皆優しくて英語もペラペラで、わからないことがあって聞けばなんでも教えてくれます。すぐ友達ができると思います。

ルーマニアという国は情報が少なく、その少ない情報も、治安が悪いというイメージが強いものが多いと思います。でも、行ってみると、そんなことはなくて、私は本当にいい国だなと感じました。日本人が少ない分、現地では様々な、日本では出会えないような人とも出会えたり、絆が深まったりするのでとてもいいなと思いました。ブカレスト大学があるのは都市部なので、交通面や施設面でもとても便利です。多分皆さんが思っているより発展していると思います。また、鉄道で地方の方に行けばのどかで、美しい風景が見られるところもたくさんあります。物価も安いので、旅行も楽しめると思います。

ルーマニアに留学というのは、少し不安と感じる人もいるかもしれませんが、不安に感じることは何もありません。面白くて良い国だと思うので、もっと多くの方がルーマニアに留学して、日本にもルーマニアの良さが広まれば良いなと思います。